

# 図書館に行こう!



2月

「鬼は～外、福は～内」  
 節分が過ぎるとすぐそこに春の足音が聞こえてきますね！  
 図書館は年1回の蔵書点検のため1日(月)～5日(金)までお休みします。月初めに  
 ご不便ご迷惑をおかけします。6日以降皆さまのお越しをお待ちしています。

## 今月の読み聞かせ

おはなしひろば 毎週火曜日 10:30～11:00  
 たけのこ文庫のおはなし会 2月20日(土) 15:00～15:30  
 おはなしルーム 竹田幼稚園 2月4日(木) 14:00～14:30  
 南部幼稚園 2月18日(木) 14:00～14:30

## 開館のご案内

竹田市立図書館(TEL&FAX 63-1048)

開館時間 午前10時～午後6時 休館日 月曜日・第4金曜日

荻駅交流館図書室(TEL&FAX 68-2200)

開館時間 午前10時～午後6時 休館日 土・日・祝日等

久住図書室(TEL 76-0717/FAX 76-0724)

直入図書室(TEL 75-2211/FAX 75-2217)

開館時間 午前8時30分～午後5時 休館日 土・日・祝日等

## 新刊のご案内

### 【一般書】

- ・ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人[光文社]  
東野 圭吾
- ・ライト・スタッフ[潮出版社]  
山口 恵以子
- ・駅物語[講談社]  
朱野 帰子
- ・オルタネート[新潮社]  
加藤 シゲアキ
- ・悪魔を殺した男[講談社]  
神永 学
- ・銀の夜[光文社]  
角田 光代
- ・今度生まれたら[講談社]  
内館 牧子
- ・ホテル・ネヴァーシンク [早川書房]  
アダム・オフアロン・プライス
- ・水曜日のおじさんたち[KADOKAWA] 鈴井 貴之ほか
- ・吉永小百合 私の生き方[講談社]  
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」制作班 築山 卓観
- ・私は夕暮れ時に死ぬと決めている[河出書房新社]  
下重 暁子
- ・揺れ動く今 みたいわたくしの真ん中[大和書房] Emi
- ・痛くない! 疲れない! 歩き方の教科書[朝日新聞出版]  
木寺 英史
- ・13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話をしよう。[幻冬舎]  
房野 史典

### 【児童書】

- ・グレッグのダメ日記15 なんとかなるさ[ポプラ社]  
ジェフ・キニー
- ・まちのおばけずかん マンホールマン[講談社]  
齊藤 洋 作/宮本 えつよし 絵
- ・あしたのことは[小峰書店] 森 絵都
- ・オール★アメリカン★ボーイズ[偕成社]  
ジェイソン・レノルズ、ブレンダン・カイリー
- ・10歳からの「美術の歴史」世界・日本の巨匠と名作が分かる本[メイツ出版] 下濱 晶子
- ・分解する図鑑[小学館] 森下 信
- ・みかんアート[主婦の友社] 笹川 勇
- ・こんなにスゴイ! 未来のせかい[東京書籍] 増田 まもる
- ・もしもトイレがなかったら[少年写真新聞社] 加藤 篤
- ・なんでもレストラン[文溪堂] 鈴木 まもる
- ・できるかな? あたまからつまさきまで[偕成社]  
エリック・カール
- ・くらやみきんしの国[あかね書房]  
エミリー・ハワース=ブース  
ほか 250冊ほど入りました。

2月1日(月)～5日(金)は蔵書点検のため、竹田市立図書館及び荻駅交流館図書室・久住図書室・直入図書室は全館休館します。ご不便をお掛けしますが、よろしくお願いたします。

読み聞かせに  
 おすすめの  
 一冊

## 「ちびっこちびおに」

あまん きみこ 文/わかやま けん 絵 偕成社

人間の子とも遊びたくてたまらない鬼の子・ちびおに。ある日、帽子や服で姿を隠しふもとの幼稚園へ行きました。遠くから見ていただけのようですが、いつの間にか子どもたちについて幼稚園の中へ入って行ってしまいました……。



ちびおにの無邪気で優しい心と、子どもたちの素直で柔軟な心が伝わってくる優しい絵本です。節分の日の読み聞かせにいかがですか？

## 司書おすすめの1冊



### 一般書 「十の輪をくぐる」

辻堂 ゆめ 小学館



認知症の80歳の母を自宅で介護しながら、妻とバレーボール部で活躍する高2の娘と暮らす泰介。ある時、母が「私は…東洋の魔女」「泰介には秘密」と呟いた。泰介は九州から東京へ出てきた母の過去を何も知らないことに気づく。泰介は母の部屋で見つけた新聞記事を頼りに、母の「秘密」を探り始める。それは泰介が日頃感じている「生きづらさ」にも繋がっていて……。1964年と2021年、東京五輪の時代を生きる親子の姿を三代に渡って描いた感動必至の大河小説です！

### 「おじいちゃんとの最後の旅」

児童書

ウルフ・スタルク 作/キティ・クローザー 絵 徳間書店

おばあちゃんが亡くなって、病院に入院しているおじいちゃん。おじいちゃんが汚い言葉ばかり使うので、パパはお見舞いに行きたがらない。でも、ぼくはおじいちゃんが大好きだ。死ぬ前に家に取りに行きたいものがあるというおじいちゃんのために、ぼくは病院を抜け出すカンペキな計画を立てた…!!



おじいちゃんを想う少年の切ない気持ちをユーモアでくるみ、巧みに書きあげた心に沁みる一冊です。